

所弓便

第6号

所沢市弓道連盟会員 319名

みんなが優しくなった

会長 新家 透

地震10日目3月22日現在、死亡8,649人、安否不明18,399人、地震20日目31日現在、死亡11,532人、安否不明18,260人。

この数字の推移と大きさに未曾有の災害を思い知ります。

亡くなられた方々の冥福を祈り、被災された方々が挫けませんようにと願うばかりです。

被災した船を、まるでもてあそぶかの様に載せた津波が、あらゆるものを巻き込みながら、定規を当てたように整然とした農地を飲み込む、あの恐怖に満ちた無音の映像にただ呆然としました。

また、地震から数日たったある日、ラジオから避難所の子供たちに向けて放送されたドラえもんマーチ ……

きょうは 미래の ためにある
タイムマシンで みたあすを
めざしてげんきに あるこうよ

…… 襷を縫う針仕事の手元が見えなくなりま
した。

地震後の日本中がトーンダウンし、メディアも災害の報道以外は、ACばかりが耳に暗く聞こえます。

鉄道の駅も薄暗く、大きな声も聞こえず、みんなが優しくなったと思えます。

現地の被災者で無い私は、日が経つにつれ、復興よりも早く、恐怖も被害も涙も忘れ、元気な日常に戻るでしょう。

出来る事なら、この災害で得た、たった一つの良いこと『優しさ』を持ち続けたいものです。

また、武州弓道大会用のタオルを、被災者に使って頂くため、被災者の受け入れ施設になった市民武道館にお届けいたしました。

最後に、道場の使用制限で会員の皆さんご不便でしょうがご協力をお願いします。

東日本大震災関係

(3月11日)

東日本大震災発生14時46分

(3月14日)

計画停電開始され市民武道館、市弓道場とも第1グループに該当。両道場の使用制限始まる。

9時以前及び17時以降並びに計画停電予定時間中は使用不可。

(3月23日)

市民武道館が震災避難者の受け入れ施設に決定
4月末まで弓道場使用禁止。

(3月27日)

避難者用として武道館に武州大会用タオル(残っていたもの98本)を提供。

(3月28日)

市弓道場計画停電中の道場使用制限一部緩和
(9時~17時の間について)

前日に計画停電中止の発表があった場合は、その時間帯の使用は可。

(3月28日)

市民武道館の避難者受け入れ開始予定

(3月30日)

市弓道場 計画停電中の道場使用制限一部緩和
計画停電実施時間中のみ使用不可、ただし17時以降は閉館。

(4月11日)

市弓道場の17時以降の利用を再開(計画停電時を除く)

(4月15日)

市武道館避難者受け入れ施設を一時解除し開館する。

現時点で所弓連会員についての被災情報なし。

東日本大震災に伴う 義援金支援ご協力のお願い

全弓連では、東日本大震災に関して3月29日に緊急役員会を開催し、義援募金を決定いたしました。これを受けて埼弓連、西部支部も協力することとしています。

内容は、地連、支部、団体、個人を問わず広く募り、全弓連で平成23年5月末日までに取り纏めて東北連合会と調整の上、日本赤十字社等へ贈るといふものです。

所弓連でも4月9日の理事会において全弓連等の趣旨に賛同し、会員に対して義援募金を行うことといたしました。

- ① 義援募金箱を市弓道場内に設置いたしました。なお、全弓連経由で送金する関係上5月4日(水)までに取り纏めることといたします。所弓連会員各位には趣旨ご賢察いただき暖かいご支援を是非お願いいたします。
- ② また、所弓連としての義援金は、4月23日の総会において抛出の可否と規模を諮ることとしております。

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

所弓連会員数

3月31日現在の会員数は319名です。

3月入会者 豊田佳隆さん(三段)

昇段・昇格

(2月1日以降 3月末まで)

昇段おめでとうございます

四段 藤田 良

初段 菊池 康仁

総会関係

- 3月12日 総会プログラム原案作成
- 3月20日 案内状・資料印刷 325部
- 3月27日 発送作業(丁合・封筒詰)

所 弓 便

- 2月 5日 所弓便5号編集会議
- 2月24日 印刷 330部
- 2月27日 発行作業(丁合・封筒詰)
- 3月 5日 所弓便6号編集開始

神社道場メンテナンス

- 3月19日 矢止めネット補修



- ① : ナイロンロープで補強
 - ② ③ : 老朽化した矢止めネット端末と継ぎ目を針金で補強
 - ④ ⑤ : 強風を考慮、ロープをひと廻りさせ4箇所針金で表裏共補縛固定
- 3月19日 遠的場側面矢止ネット再繫縛
 - 3月23日 近的、遠的矢道除草剤散布
 - 3月29日 近的矢止ネット補修

【指導部】

定期講習会

3月末までの講習会受講者数
橋田教室(毎月第1木曜日、第3土曜日)

受講者延 170名
土曜講習会 (草賀先生) (毎月第2土曜日)
受講者延 108名
水曜講習会 (見原先生) (毎月第4水曜日)
受講者延 156名

所弓連指導者講習会

3月5日 講師：橋田先生
受講者15名

【競技部】

(2月6日) 第16回武道祭 (武道館)
スポ少 (一手立射)
國本 葵(中2) 伊藤 颯(小6)
花崎怜奈(中1) 栗原大智(小6)
宮本莉緒(中3)
道 着 (一手座射)
藤田 良(4段) 奥富季乃(3段)
キースバクストン(3段) 澤田靖子(4段)
広瀬雅孝(3段)
和 服 (一手座射 肌脱ぎ襷がけ)
野村郁夫(5段) 増田裕子(錬士5段)
賀未寛人(4段) 平山夏子(錬士5段)
山口正彦(5段)

さて武道祭での弓道連盟の演武は、従来から8武道連盟のなかでも一番最初に行われる。

アリーナ内柔道場豊に引かれた射位から剣道場床の特設安土に掛けられた霞までの距離は、20メートルと短い。

また、1階椅子席や2階スタンドの観客は、ほぼ全員が実際の行射をみるのが初めてで、その関心は矢が的に当たるかどうかの1点だけのようでもある。

これらのこともあって演武者の心理が、短い距離なので普通に引けば中るから中てなければと刻々変化するにつれ、的がどんどんと遠ざかり小さくなっていく！

出場された演武者の皆さん、今までの審査や射会とは全く異なる雰囲気の中ご苦勞様でした。

そして、大きな寄木細工を組み立てるような特設安土の作成や、演武進行に協力いただいた方々本当に有り難う御座いました。



第16回武道祭参加者

(3月6日) 西部支部評議員会及び射会(武道館 参加101名)
優勝 鈴木光昭

* その他の射会は、東日本大震災のため中止となりました。

【スポーツ少年団】

(2月6日) 第16回武道祭
演武者5名 矢取り2名
(2月13日) 所沢市スポーツ少年団交流大会 航空公園 6名参加



各スポーツ少年団との交流健康マラソン

* スポーツ少年団卒団記念射会 (3月19日)
は、東日本大震災のため中止となりました。

投 稿 ∞

節 目

竹下 眸

初段から当然の様に審査を受け続けて来ました。審査に対して私が感じる事は、「射法八節」(八つに区分されているが、射の運行にあたってはこれらは終始関連して一環をなし、その間分離断絶することがあってはならない)と良く似ている様な気がします。

弓道の修練と言う一連の流れの中に在りながら「段」と言う節目が在り、節目が在っても留まらず、理想は常に前進している事である、と感じます。私が審査を受け続けてきた気持ちは、常に少しずつでも前進をしたいと思う所からです。

この先の「五段」と言う新しい世界には今迄の様にむやみに受審する気持はありませんが、これからは五段を指針として稽古をして行きたいと思えます。

今後の課題は色々ありますが、当面の目標は①正しい手の内。②先生の仰る事を、「分かっている」とか「やっているつもり」ではなく、如何に「実行するか」です。どんなに素晴らしいご指導を戴いても自分が実行しなければ反故になってしまいます。

同じ注意を何度でも繰り返し懲りずにご指導下さる先生に感謝し、これからも機会があれば審査を受けて行きたいと思えます。又日頃大変良くして下さる先輩諸氏、仲間の皆様に、今後も厳しい愛の鞭を宜しくお願い申し上げます。

参段に合格して

竹下 正博

平成20年11月に所沢で式段を頂いた後、2

年半掛って、8回目の審査でやっと参段の認許を頂くことが出来た。

振り返って見ると、矢飛び、弓返り、手の内・・・色々と気にし始めてからは、体型が安定せず、射も乱れて、審査を受ける度に「僅か2本の勝負」という弓の厳しさを感じ、また、先生や先輩に色々教えて頂いた事が中々出来ない自分に「弓道に向いていないのでは」という不安も感じ始めていたが、「継続は力なり」を信じて、練習を続け、講習に参加し、審査を受け続けた結果の参段であった。

審査直前の講習会で、「弓手の押しを支えるのは右足の踏ん張り、妻手の引きを支えるのは左足の踏ん張り、この両方の力が交差する所が弓を引く時の体の中心(ここが丹田)、丹田に気力を詰めて弓を引くことが大切」と教わり、何か理屈が理解できたような気になって、急に射が少し安定して来たように思う。審査当日もこれを意識して弓を引くことが出来たので、2本の中し残身も決った様に思う。

また、参段受審者は70人程、自分の受審番号は45番、掲示を見て大前であることが解っても何故か余り気にならなかった。練習で4人立ちの大前は何度も経験しているし、事前に審査会場で射の練習も行ったし、自分より番号が後ろの人も多く頑張っているので「自分も負けずに頑張ろう、元気と勇気を貰って大前の責任を果たそう」と思うことにより、控えにいる時も、入場してからも不思議に落ち着いていた。

射位に立って、甲矢を射て、幸いにも的中した。すると2番手・3番手も快音を発した。自分は乙矢も気持ち良く射ることが出来た。

結果発表で「合」の印を見た時、「ホッ」として肩の荷が軽くなるのを感じた。

また、46番・47番も「合」だったので、「大前の責任を果たせた」との満足感も感じ、お二人と喜びの握手を交わすことも出来た。

弓道をやってきて、幸せを感じた瞬間であった。

古希を迎えての参段であるが、何処まで行けるか、次の目標に向かって、気力・体力を維持し、精進を続けながら、弓を楽しみたいと思う。

この紙面を借りて、改めて先生方、諸先輩、同僚各氏にお礼申し上げ、これからも懲りずに、ご指導賜りたく宜しくお願い申し上げます。

参段合格に寄せて

川端由美子

昨年11月熊谷での審査で参段に合格できました。ご指導くださった先生方、練習仲間の方々、賀来ご夫妻とスポーツ少年団の子どもたち、皆様のおかげです。心より感謝しております。

2回目の受審でしたが極度の緊張で甲矢は外してしまいました。今回もだめかなと思ったとき、貴重な休日なのに熊谷まで来て下さっていた松寄先生のお顔が頭に浮かびました。同時に練習でいつも言われていた諸々のことを思い出すことができ、乙矢はなんとか中ってくれました。



6年前、スポ少の初心者教室に娘が参加した際、保護者も一緒に教えていただけるとのことでしたので、娘と共通の話題ができるといいかな、くら

いの気持ちで参加しました。

それがいつのまにかすっかり弓道の魅力にとりつかれてしまいました。職場の異動や親の病気で道場に足が向かなかったときもありましたが、いつ行っても誰かがいて、快く受け入れてもらえる神社道場という環境に恵まれて現在まで続けることができたと思います。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

∞ お知らせ ∞ 定期講習会

橋田教室 (段位問わず)

武道館 毎月第1木曜日、第3土曜日

土曜講習会 (段位問わず)

市弓道場 毎月第2土曜日

水曜講習会 (段位問わず)

市弓道場 毎月第4水曜日

初心者弓道教室

前期教室 (武道館)

5月21日 (土) ~ 7月2日 (土)

毎土曜日 13:00~16:00

後期教室 (市弓道場)

8月31日 (水) ~ 9月30日 (金)

毎水・金曜日 19:15~21:00

スポーツ少年団弓道教室

5月24日 (火) ~ 6月18日 (土) 市弓道場

毎火・木・土曜日 19:00~20:30

∞ 今後の行事予定 ∞

23年

5月15日 月例射会 (遠的、近的) 市弓道場

5月21日 初心者弓道教室 (前期) 武道館

週1回、7月2日まで全7回

5月24日 スポ少団弓道教室 市弓道場

週3回、6月18日まで全12回

- 6月 5日 月例射会 (近的) 武道館
 7月 10日 月例射会 (遠的、近的) 市弓道場
 8月 6日 初心者弓道教室修了生研
 修模擬射会 武道館
 8月 21日 月例射会 (近的) 武道館
 8月 21日 理事会 武道館
 8月 31日 初心者弓道教室 (後期) 市弓道場
 週2回、9月30日まで全10回
 9月 19日 第38回市民弓道大会 武道館
 10月 2日 故鈴木 博先生追悼射会 (予定)
 10月 8日 第1回四段以下講習会 武道館
 10月 23日 所沢市スポーツ少年団弓道交流
 大会 武道館
 10月 31日 所弓便7号発行
 11月 13日 第51回青少年三道大会 武道館
 11月 23日 第44回武州大会 武道館 (予定)
 12月 11日 納射会 武道館
 12月 18日 大掃除 市弓道場・武道館
 24年
 1月 1日 新年百射会 市弓道場
 1月 7日 寒稽古1月11日まで5日間
 市弓道場・武道館
 1月 15日 初射会、懇親会 市弓道場外
 1月 21日 第2回四段以下講習会 武道館
 1月 29日 理事会 武道館
 2月 5日 第17回武道祭
 2月 28日 所弓便8号発行
 3月 3日 指導者講習会 武道館
 3月 11日 月例射会 (遠的、近的) 市弓道場

∞ 会長月誌 ∞

平成23年

- 2月 6日 平成22年度武道祭第3回実行委
 員会 (外下田理事長、清水さん)
 2月 19日 西部支部理事会 (役員人事)
 2月 26日 埼弓連平成22年度第4回理事
 会 (役員人事外)

- 3月 5日 平成22年度所沢市スポーツ大
 賞・所沢市体育協会賞表彰式
 3月 6日 西部支部評議委員会
 (森川支部長再任承認ほか)
 3月 17日 熊野神社に下期管理費持参
 (外海老名会計)

∞ 編集後記 ∞

この度の東日本大震災で亡くなられた方々、被災された方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

大地震、巨大津波に加え、まだ行く先の見えない原発事故は日本中を、世界を震撼させております。被災された方々は勿論、救助、復興に携わる方々の辛苦は量り知れません。平穏な、普通の生活がいかにありがたいことであるかを改めて思い知りました。

ただ沈んでばかりいても前へは進めません。一日も早く普通の暮らし、心の平安を取り戻せるようになることを祈念するとともに、私たちそれぞれがそのために何ができるかを考え、行動に移していきたいと思えます。

道場にあっても、弓を引くことが出来る幸せに感謝しつつ、これまで以上に一射一射真剣に大事に引いて行きたい、感射したいと思えます。(飯島)

編集委員

飯島稔凱 小林壽子 小林康則
 山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便 第6号
 発行日 平成23年4月23日
 発行者 所沢市弓道連盟
 会長 新家 透

3月27日 武道館に武州大会用タオル提供

